

- 1. テーマ 「芹沢公園、高座海軍工廠地下壕跡と台湾少年工顕彰碑を訪ねる」
- 2. 開催日 令和2年10月17日(土曜日) 9時～12時半
- 3. 集合場所 中宿公民館
- 4. 講師 鈴木 徹雄 氏
- 5. 工程 公民館⇒芹沢公園⇒地下壕跡のコース  
で往復約7キロ 歩行時間3時間
- 6. 参加者 中宿自治会会員26名

9時00分	挨拶と資料配布
9時10分	体操
9時15分	中宿公民館出発
12時15分	中宿公民館戻り
12時20分	弁当・飲物を配布
12時30分	解散

写真1 芹沢公園管理棟に向かって



写真2 台湾少年工顕彰碑の由来



写真3 顕彰碑についての由來說明に聞き入る



写真4 鈴木講師による由來說明



写真5 地下壕を前に当時を偲ぶ



写真6 地下壕についての由來說明



写真7 湧水地形についての説明の後 帰路へ



後記：終日雨天であったが参加者全員が興味を持って座間市の歴史に触れることができた。初めて知る台湾少年工の、希望と悲哀に接し、両国の狭間で苦しんだ彼らに想いを馳せる。戦後70年を経ても朽ちることなく口を開けた地下壕は凡庸な私たちに戦争の傷跡を生々しく訴えかけていた。貴重な体験となった市民レクであった。